



八高支祭

10月17日(金)と18日(土)の二日間、八高支祭が開催されます。

一日目は生徒のみで行われる八高支祭で、ステージ発表やグループごとの見学、二日目の準備が行われます。ステージ発表では、約20組の出場者の中からオーディションを通過した12組が全校生徒の前でパフォーマンスを披露します。歌やダンス、手品、劇、楽器の演奏など、工夫を凝らし練習を重ね、スポットライトの下その成果を発揮します。例年、会場が一体となって盛り上がる場面もあります。

また、ステージ発表後の生徒投票により出場者の上位5組が選ばれ、二日目のフィナーレで来場者や保護者、生徒の前で発表と表彰が行われます。今年は何のようなパフォーマンスが見られるのか、楽しみです。

二日目は、日々の学習活動の成果を発表する場として、各学習グループで作った製品の販売や実演、作品展示などが行われます。毎年、多くの方が来場して下さいます。

今年度の八高支祭スローガンは、応募総数73の中から「十人十色～みんなの個性(※いろ)で染め上げよう～」に決定しました。このスローガンには、個人個人が持っている自分の個性(いろ)を大切にしてほしいという願いや、その個性や持ち味をステージで存分に発揮し活躍する八高支祭にしたいという思い、さらに、みんなが最後に笑顔で「楽しかった」「八高支祭最高だった」「思い出になった」と言えるような八高支祭になればという願いが込められています。

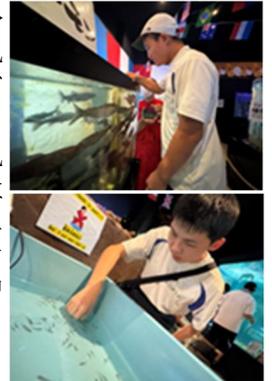
すてきな二日間になりますように。

(教務主任 竹井)

3年7組 校外学習(9月17日)

観光遊覧船に乗り八戸港を見学する予定でしたが、雨が降ってしまい中止になってしまいました。そこで、雨が上がった午後「八戸水産科学館マリエント」へ見学に行ってきました。館内では、八戸の海に生息する多様な魚や海洋生物について見学し、実際に水槽の中を泳ぐ魚に餌をあげたり、触れたりして興味深く観察する姿が見られました。観光遊覧船には乗れませんでした。マリエントでの展示や体験を通して八戸の海について学習することができました。

(工藤)



「こびりっこ」を作りました(8月28日)

2年8組では、いろいろな食文化について知ることをねらい、青森県の南部地域独特の食べ物の一つ「こびりっこ」を作ってみました。最初に「こびりっこ」の名前を出したところ、知っているという生徒はなし、インターネットで写真や作り方を検索してみました。材料の南部せんべいやお赤飯を調達し、南部せんべいに熱々のお赤飯をはさむだけの簡単な調理で「こびりっこ」ができました。生徒の反応は「おいしい」と「ちょっと苦手」が半々。地域の食文化に触れるよい機会となりました。(岩岡)



産業科1学年校外学習(9月12日)

見学や体験を通して地域の魅力を知り、その情報を整理・活用する力を身に付けることをねらい、校外学習を行いました。

事前準備では、施設に電話をして利用する時間帯や人数を伝えたり、昼食時のお店を予約したりしました。

当日は、「陸奥湊駅周辺」「八戸市中心街」「八戸駅周辺」に分かれ、計画した公共施設や観光施設、八戸市の文化や歴史、お土産等について調べました。まとめが楽しみです。(中村大)



体を鍛えて、めざせ『貯筋』!(8月27日)

3年6組では月・水・金のキャリアミーティングの時間を使い、20分ほどの運動に励んでいます。ストレッチや有酸素運動を取り入れ、三段ジャンプやバービージャンプ、50回のもも上げなど、クラス自慢のメニューにも挑戦。全員が真剣に体を動かし、終わる頃には爽快な汗と笑顔が広がります。「貯筋」を合言葉に、強い体をつくるだけでなく、生涯にわたり運動を続けたいという気持ちも育っています。(戸田金)

